



セミのぬけがらの見分け方

夏休みの
自由研究にも
お役立ち

ぬけがらを見分けることで、セミのしゅるいとオスかメスかがわかる。
セミのことはもちろん、ぬけがらを採集（さいしゅう）した場所のこともわかる。



東京の市街地（しがいち）で採集できる6種のぬけがら

●小型の3種

ニイニゼミのぬけがら



1.7cm前後。小さくて丸っこく、かならず泥（どろ）がついているのが特徴。泥を落とさないとオスかメスかわからないが、そこまで調べなくともよい。

ヒグラシのぬけがら



2.2cm 前後。褐色（かっしょく）でつやがあり、背が曲がった形をしている。あるていど自然の豊かな環境でないと採れない。

ツクツクボウシのぬけがら



2.5cm 前後。白っぽくてつやがなく、まっすぐな形をしている。どのぬけがらよりもろい。

●小型3種の見分け

泥がついている
（ニイニゼミ）



つやのある褐色で、背が曲がる
（ヒグラシ）

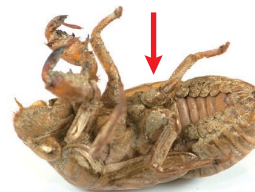


つやがなく白っぽく、細くて直線的（ちよくせんてき）
（ツクツクボウシ）



●大型の3種

クマゼミのぬけがら



3.5cm 前後で大きい。金色っぽくてつやはない。お腹の足のつけ根に出っぱりがある。クマゼミは西日本に分布し、関東には本来いないので、都内ではほとんど採れない。

アブラゼミのぬけがら



3.2cm前後。よく見かけるぬけがら。ミンミンゼミのぬけがらによく似ている。関東ではいちばん多い。

ミンミンゼミのぬけがら



3cm前後。アブラゼミのぬけがらによく似ている。アブラゼミよりも数が少ない。

●アブラゼミとミンミンゼミのぬけがらの見分け



アブラゼミ

ミンミンゼミ

触角（しょうかく）で見分ける。アブラゼミの触角（左）は太く、毛が多く、つけ根から3番目の節がほかの節よりもやや長い。ミンミンゼミ（右）の触角は細めで、毛が少なく、つけ根から3番目の節はほかの節の長さ変わらない。

触角が折れていたら

目の下の口のような部分を見よう。アブラゼミには焦げたような模様があるが（左）ミンミンゼミ（右）にはない。ミンミンゼミの同じ部分には土がついていることが多い

●オスとメスの見分け（すべてのセミに共通）



オス

メス

ぬけがらをひっくり返し、お尻の先を見よう。オスの尻の先には大きなでっぱりが1つある（左）。メスの尻の先端には小さな出っぱりが2つある（右）。

※この形はすべてのセミに共通

昆虫ドリルやぬりえがあるよ！

INSECT
MARKET



インセクトマーケット
<https://insect.market/>